

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の委員の人数が少ないために、今年度は委員の都合が合わずに流会になってしまうことが続いた。年6回の定期開催をするために委員の人数を増やし、欠席による影響を少なくする必要がある。	花みずきの運営に関心があり、花みずきをより良くするために協力してくれる人に運営推進会議の委員になっていただく。ご家族の代表以外に10人を目標にする。	①委員の勧誘を幅広く行う。他のグループホーム施設長にも声を掛ける。②参加条件を年6回でなく、都合のつく範囲で願います。③会議の議題を参加して楽しい内容となるように工夫する。④開催日を年間計画で予め決めて事前にお知らせする。	12ヶ月
2	28	各ユニットが一戸建てで独立している利点もあるが、反面ユニット間での協力体制が取り難いという問題を抱えている。各ユニットが孤立して問題を抱え込まないように、構造の強みを活かした連携が課題である。	各ユニット間での情報交換や協力しやすい体制を作ることにより、1つのユニット内でのサービスに捉われず、他ユニットとの連携で柔軟な支援やサービスが可能となるようにする。	①3ユニット合同の会議を定期的に行い、意見交換の場を設ける。②協力体制が取り易いように、3ユニットで統一できる所は共通化する。③各ユニット職員がユニット相互での交換実習を行う。	6ヶ月
3	13	新人職員への教育が3ユニットで統一されていないために、職員の仕事に対する理解や介護の仕方に差がみられる。	花みずきとしての新人職員に対する教育をマニュアル化し、3ユニットで統一した職員教育が行えるようシステム化する。また、職員一人ひとりの経験や力量に合わせた指導を行う。	①新人職員教育マニュアルの見直しを行い、実効性のあるものにする。②中堅職員はマニュアルに基づいて指導内容を確認し、統一した指導を行う。③マニュアルを基に職員全員が自己点検し、自らのスキルアップに努める。	6ヶ月
4	26	ケアプランはユニット職員全員の意見を合わせて作成しているが、試案を作る担当者の経験や力量により完成までの時間に差が出ている。	ケアプランの作成やモニタリングが指定期日に遅れないようにする。また、利用者の状態が変わった時には適時速やかにモニタリングとケアプランの変更が行えるようにする。	①ケアプラン作成のスキルアップが出来るように、研修に参加する機会を多くする。②特に新人職員に対して、アセスメントやモニタリングが容易に行えるようなチェックシートを工夫する。③職員教育の見直しを行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。